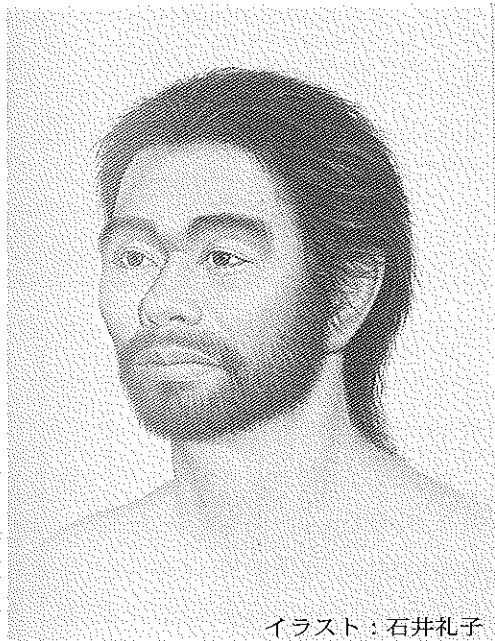


- ◆復帰30周年記念特別展「港川人展～元祖ウチナンチュ～」
- ◆沖縄の文化財展／企画展「沖縄ナースものがたり～看護学校の青春群像～」
文化講座・体験学習教室のご案内
- ◆寄贈者のご紹介／最近の催しから（第27回移動博物館・新収藏品展）

復帰30周年記念特別展

港川人展～元祖ウチナンチュ～



イラスト：石井礼子

前回の博物館だより（No. 47）では、「港川人展」の目的と主な関連催事について紹介しましたが、今回は追加・変更された事を含め、もう少し詳しく「港川人展」について紹介します。

さて、これまでこの展示会の名称は「港川人展」というタイトルのみでしたが、5月に行われた展示検討委員会及び共催者を交えての会議により、「港川人展」に続くサブタイトルが決められました。そのサブタイトル名は「元祖ウチナンチュ」です。港川人は、今から約1万8000年前にこの沖縄の地で生活していたということからも、私たちウチナンチュのルーツといえるのではないかと、この名称が採用されました。

今回の特別展では、港川人（1～4号）の実物をはじめとして、その他県内で発見されている更新世後期の人骨資料が多数展示されます。これらを見て、感じることで、あなたも港川人がいた世界にタイムスリップすることができるかもしれません。

関連催事

◆シンポジウム「港川人の世界」

8月24日（土） 午後2時～4時30分

港川人が発見されてから、30年あまりが経ち、これまで多くの研究成果が得られています。

これらの研究成果をふまえ、港川人の発見や特徴、港川人の来た道、他の地域や時代の人骨との比較を行うとともに、多くの動物化石などから港川人が生活していた自然環境など港川人の世界について県内外の研究者による意見交換を行います。

◆特別講演会「港川人がいた頃の沖縄は」

9月21日（土） 午後2時～4時

講師：長谷川善和（群馬県立自然史博物館館長）
定員なし／入場無料

古脊椎動物研究の第一人者である長谷川善和氏により、港川フィッシャー遺跡から出土した動物化石を中心として、沖縄県内各地より出土する動物化石から、港川人がいた当時の動物相を割り出し、自然環境を復元していきます。

◆野外巡検「洞穴観察会」

定員：各30名（応募多数の場合は抽選を行い、該当者にのみ通知します）

参加費：1,400円（バス代・保険料）

講師：知念幸子（県立球陽高等学校教諭）ほか

<第1回> 8月25日（日）午前9時～午後1時

対象：5年生以上の小・中学生

募集期間：8月6日（火）～9日（金）

<第2回> 9月8日（日）午前9時～午後1時

対象：一般

募集期間：8月27日（火）～30日（金）

<第3回> 9月14日（土）午前9時～午後1時

対象：一般

募集期間：8月27日（火）～30日（金）

◆化石・岩石鑑定会

8月28日（水）、29日（木）

午後1時～5時

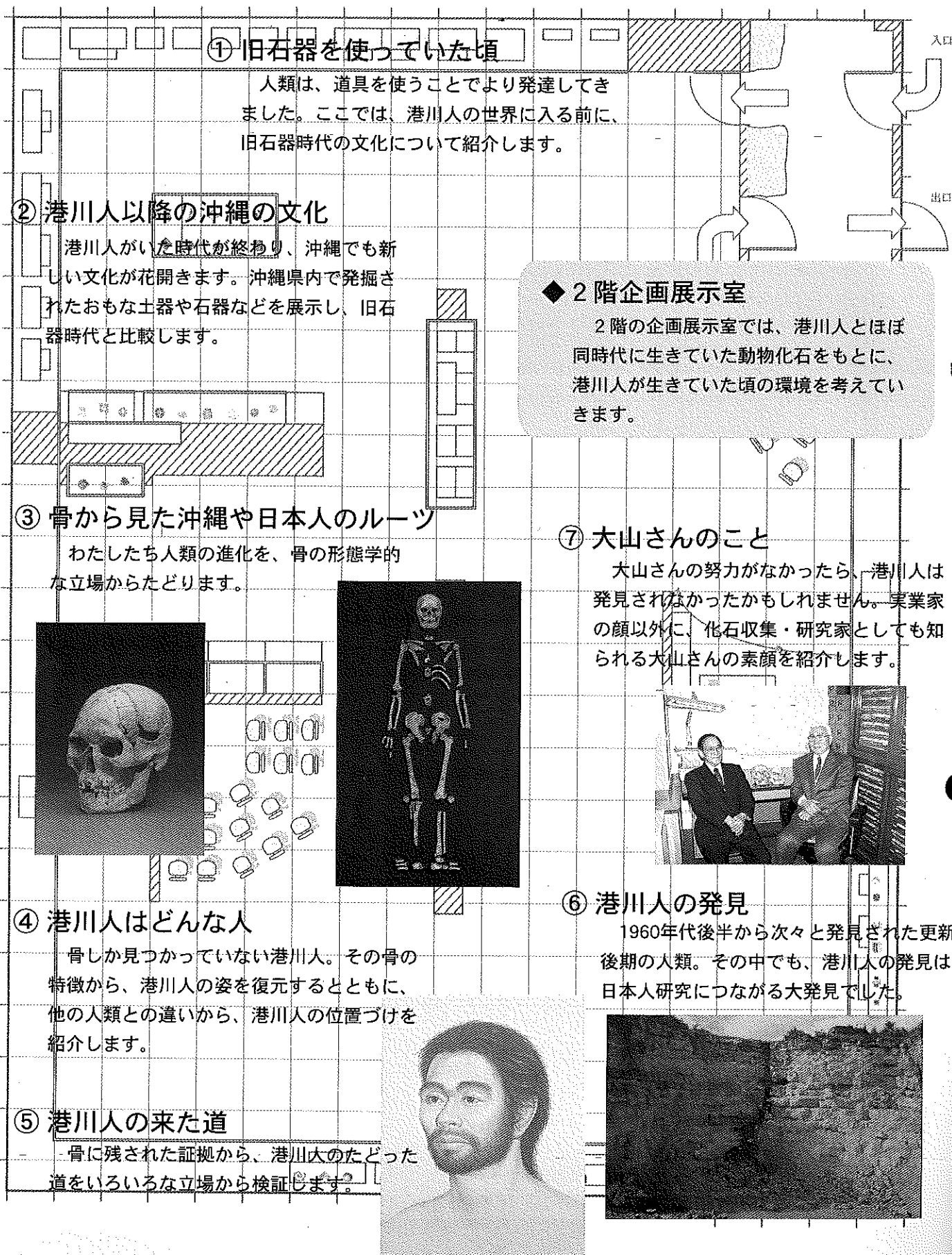
対象：小・中学生

講師：神谷厚昭（県立真和志高等学校教諭）ほか

各自持ってきた化石や岩石について、名前や由来について講師が解説をします。

さきに行われた「港川人展」展示検討委員会において、展示内容・構成などについても話し合われました。その中で検討され決定したのが次の展示案内図です。

それでは、第1展示室を案内しますので、右上の入口からお入り下さい。



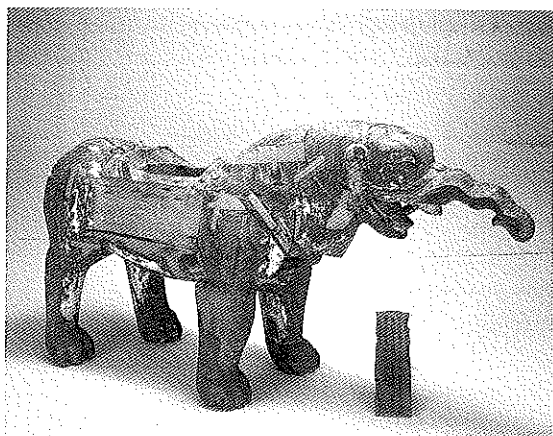
企画展 沖縄の文化財展 10月29日(火)～11月24日(日)

本年度から実施する新企画展を紹介します。

本館は、県内最大の文化財保存機関であると同時に、文化財を有効に活用出来る文化施設でもあります。県民にこの役割を再認識してもらうため、11月3日「文化の日」を中心とした教育・文化月間にちなんで、10月29日(火)から11月24日(日)まで、企画展示室を主会場にして、「沖縄の文化財展」を開催します。

この企画展の内容は、沖縄県立博物館が現在まで所蔵・保管している国指定の重要文化財や、県指定の文化財、特別天然記念物「イリオモテヤマネコ」のはく製標本などを公開するものです。これらの展示資料のなかには、状態が悪く展示困難な資料でなかなか公開できないものもあります。

また、この展示会と併行して、県庁1階ロビーの県民広場においても、10月28日(月)から11月2日(金)の期間、企画展「沖縄の文化財展」をはじめとする、沖縄県立博物館の諸活動を紹介し、より多くの方々に理解していただくために「パネル展」を行います。



木彫円覚寺白象並に趣意書木札(県指定)

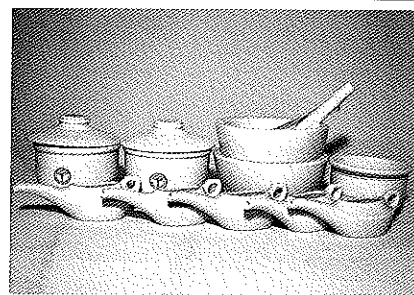
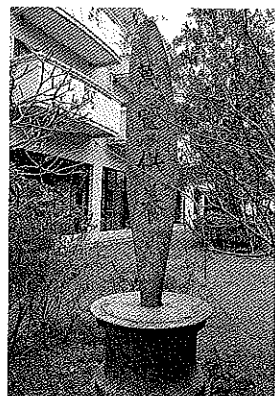
あなたもナース体験を！ 2月4日(火)～3月23日(日)

企画展 沖縄ナースものがたり～看護学校の青春群像～

戦後沖縄の再建に向けて、戦さで傷ついた人々の心身を癒すため、昭和21年に看護学校が設立されました。病院附属の看護師養成機関として始まった看護学校は、昭和30年には独立した機関として誕生。のちに、コザ看護学校、那覇看護学校に改称・設置され、両校が合併され沖縄看護学校となりました。

平成14年3月、戦後本県の医療福祉の最前線に有能な人材を育成・輩出させた看護学校が、56年の歴史に幕を閉じることになりました。閉校に伴い、看護学校に関する資料約200点が当館に寄贈されました。その中身は、写真資料、印鑑、実習用具、校門表札、学校旗など。

これら資料を活用して、看護学校の歴史を縦軸に、またナースたちの青春群像を横軸に戦後公衆衛生・看護教育の足跡を見つめることが、この企画展の目的です。開催期間は、平成15年2月4日から3月23日まで、スロープ・企画展示室を使って行います。乞うご期待。



文化講座・体験学習教室のご案内

<文化講座>

- ◆特別講演会「港川人がいた頃の沖縄は」
長谷川善和 9/21(土)
- ◆「戦後沖縄の看護学校」
大城弘子 2/9(日)
- ◆「海の群星～漁撈体験を交えて～」
稲福政吉 10/19(土)
- ◆「首里の文化財めぐり」
萩尾俊章 2/15(土)
- ◆「久高島の民俗とイザイホー」
湧上元雄 11/24(日)
- ◆「糸の話～編むと織る～」
片岡 淳 3/8(土)
- ◆「湧上元雄 11/24(日)
- ◆「近世琉球の海運と海人」
豊見山和行 12/1(日)
- ◆「野鳥観察会」(野外)
嵩原建二 1/19(日)

<体験学習教室>

- ◆石うすを使って豆腐を作ろう
9/22(日) 豆ひき・豆腐づくり
- ◆しっくいシーサーをつくろう
11/9(土) シーサー製作
11/10(日) 絵付け・完成

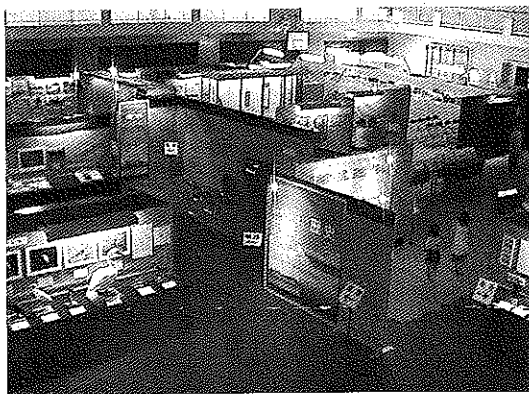
【お問い合わせ】

沖縄県立博物館 教育普及課

TEL(098)884-2243

最近の催しから

第27回移動博物館（多良間村）



沖縄県立博物館では、日頃博物館を訪れる機会の少ない地域の方々に、博物館活動の一端にふれていただくため「移動博物館」を毎年実施しております。今年度は、平成14年6月21日（金）、22日（土）の2日間、多良間村立多良間小学校体育館で開催いたしました。

開会式では、多良間小学校児童会を代表して、垣花友里佳さんが「離島に住む私たちにとって見学する機会の少ない博物館が、いよいよ多良間にやってくるということで、まだかなあ、まだかなあと、とても楽しみにしていました。高さ5mの恐竜に期待で胸がワクワクです。会期中にお父さん、お母さん、おじい、おばあも誘ってよく観察し、これからの学習に生かしていきたいです」と、歓迎と期待の言葉がありました。

展示会は、「大むかしの生物」「沖縄の自然、歴史、暮らし」の2つのコーナーで構成され、内容は大型の恐竜骨格標本をはじめ、沖縄の自然・歴史・文化を総合的に把握できるように企画し、約400点の資料を展示いたしました。また、会期中に小中学生や、一般の方々を対象にして、多良間島で見られる野鳥などの野外観察会を実施いたしました。展示会開催中、子供から大人まで多くの方々が会場に訪れ、熱心に展示資料に見入る姿や、博物館職員の説明を聞く姿が見られ、好評のうちに終了いたしました。

企画展

新収蔵品展～平成13年度収蔵資料～

前年度に博物館へ寄贈された資料や購入・収集した資料を公開する「新収蔵品展」が、7月23日から8月11日まで開催されました。開会式は、40名余の参加を得て盛大に行われ、寄贈者を代表して玉那覇有公、金城一史、山城和子、真栄城勇各氏に感謝状が授与されました。

平成13年度は、208点の資料が収蔵されました。今回は、古い風景写真をなつかしうに観覧されているお年寄りの姿が特に印象的でした。古い写真資料もかなり蓄積されてきましたので、これらの写真を中心にした展示会も近いうちに企画する予定です。

新しく収蔵された資料は、大切に保管されるだけでなく、展示や調査研究に活用されます。今後も多くの方々からのご寄贈や収集を通して、県民の財産である収蔵資料をさらに充実したものにしていきます。



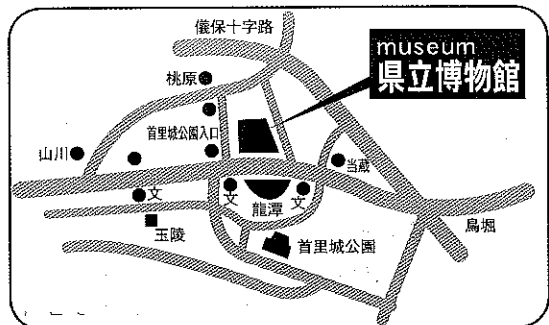
次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました ありがとうございました（平成14年4～7月、敬称略）

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ◆看護学校関係資料 197点
沖縄県立沖縄看護学校 | ◆仲座久雄関係資料 59点
仲座 巖 |
| ◆新聞 1点
宮城 勉 | ◆紙草紙他 14点
謝名元慶福 |
| ◆書籍 1点
岡本 恵昭 | ◆国絵図伊平屋嶋図 1点
沖縄県教育庁文化課
(移管) |
| ◆ナイチンゲール塔 1点
真玉橋 ノブ | ◆古銭類 45点
金城一史 |

バスのご案内

一那覇空港発一

- ★13番（石嶺空港線）「当蔵」バス停下車、徒歩3分。
- ★125番（知花首里線）「桃原」バス停下車、徒歩10分。



一市内バス一

- ★1番（首里識名線）12番（末吉線）14番（泊線）17番（石嶺開南線）の「首里城公園入口」または「当蔵」バス停下車、徒歩3分。
- ★9番（小禄石嶺線）の「桃原」バス停下車、徒歩10分。

一市外バス一

- ★46番（糸満西原線）の「首里城公園入口」または「当蔵」バス停下車、徒歩3分。
- ★97番（琉大線）の「桃原」バス停下車、徒歩10分。

沖縄県立博物館だより No.48

発行年月日：平成14年9月
編集・発行：沖縄県立博物館

〒903-0823

沖縄県那覇市首里大中町1-1

TEL (098)884-2243

FAX (098)886-4353

<http://w1.nirai.ne.jp/oki-muse/>

E-mail: oki-muse@nirai.ne.jp